☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１９

朝日新聞　令和元年５月２８日（火）

地域のリーダー育てよう

市内の３高校・丹波市、連携協定

グローバルな視野で丹波地域を支えるリーダーを育てようと、丹波市にある県立柏原高、氷上高、氷上西高の3校と丹波市が27日、連携協定を結んだ。人口減少対策や定住促進、防災など地域が直面する課題を高校生の視点で研究し、行政に提言する。市も高校生の疑問に答えるなど、研究を支援する。

連携協定を結んだ３校の校長と谷口進一丹波市長（左から２人目）＝丹波市役所

人口減・防災など課題研究

柏原高は今年度、文部科学省の「地域との協働による高校教育改革推進事業」のグローカル型に指定された。国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）に関連する、高齢化や地域医療、防災などについて、テレビ会議システムを使うなどして、韓国やアメリカなどの学校と共に研究し、国際機関への提言を目指す。丹波地域に関する課題研究（丹波学）にも取り組み、市議会に活性化策を提案するほか、公務員や看護師になるためのキャリア教育にも力を入れる。

事業には氷上、氷上西の両校が協力校として参加。3校合同での研究や発表などを検討する。柏原高の井上千早彦（ちさひこ）校長は「3校はほとんどが丹波地域の生徒。世界から丹波を支えられる生徒を育てたい」。谷口進一市長は「人口減少や高齢化といった市の状況を高校生に伝えるなど、協力したい。可能なら高校生議会のような公式の場で提案を受けて答弁できれば、高校生にも良い経験になる」と述べた。